

9. 次世代型陸上養殖の技術開発事業

横山文彦

閉鎖循環式陸上養殖は世界的に注目され一部でビジネス化が進んでいるものの、わが国では個々の要素技術が一定レベルにあるにも関わらず、高コストが課題となり普及が進んでいない。本事業は、水産庁の公募事業としてコスト削減等を目指し、各要素技術の高度化に加え、システムの総合環境制御を取り入れ、各技術の連携を実現するための実証試験等を目的としている。平成 27 年度は、一般社団法人マリノフォーラム

21 が中核機関となり、(株)ジャパンアクアテック、荏原実業(株)、(株)ワイビーエム、(株)アイ・エム・ティー、JFE エンジニアリング(株)、(株)リバネスが参画した。

総合水産試験場では、平成 24～25 年度に場内飼育棟に整備した閉鎖循環式陸上養殖水槽 (20 kL) を改良して閉鎖循環システムの技術開発を行うとともに、クエおよびトラフグを飼育して水質環境の制御等に関する試験を行った。

(担当：横山)